

# 京都社会学年報

第17号  
2009年12月

## 〈論文〉

- 愛知の「派遣村」に訪れたある相談者の生活史  
——生活の解体と再組織化の視点から——  
西川 知亨
- 「手巾」と「武士道」ブーム  
——〈擬-普遍〉主義的主体化のメカニズム——  
竹内 里欧
- 社会主義ポーランドの「雪どけ」と性愛の表象  
——映画『地下水道』を中心に——  
菅原 祥
- 裁判員制度導入以前における日本の死刑制度の賛否に関する世論の分析  
——JGSS累積データ2000-2001における死刑反対の根拠について——  
山本 博子
- 大量虐殺の過去清算における「合意」に関する研究  
——「済州4・3事件真相究明及び犠牲者名誉回復委員会」の「犠牲者審議・決定」を事例として——  
高 誠晩
- 「在日である自己」をめぐるコミュニケーションの現在  
——「就職差別」の潜在化と在日の自己提示の越境の戦略——  
孫・片田 晶
- SSK (科学的知識の社会学) から結局何が帰結するのか  
——社会認識論との協働の可能性——  
山本 耕平

## 〈書評論文〉

- コミュニティをめぐる概念と実践の可能性  
——日常生活へのまなざし——  
香川 直子  
Graham Day,  
*Community and Everyday Life*  
(Routledge, 2006)
- 動く身体の実在性  
——ダンス分析の可能性——  
古谷野 郁  
Helen Thomas,  
*The Body, Dance and Cultural Theory*  
(Palgrave Macmillan, 2003)
- 学校教育のための育児  
——ジェンダー化された労働と教育の不等——  
敷田八千代  
Alison I. Griffith, Dorothy E. Smith  
*Mothering For Schooling*  
(Routledge Falmer, 2005)
- モデル・マイノリティの20世紀  
——南アフリカ・白人優位主義社会の中国系コミュニティ——  
山本 めゆ  
Yoon Jung Park,  
*A Matter of Honour:  
Being Chinese in South Africa*  
(Lexington Books, 2009)

[編集規定]

1. 本誌は京都大学大学院文学研究科行動文化学系社会学研究室の機関誌として、年1回発行する。
2. 1) 本誌の編集は、「京都社会学年報」編集委員会の責任のもとに行われる。  
2) 編集委員会は本研究室の教員および大学院生代表者により構成される。  
3) 編集委員会に関するその他の細目は別に定める。
3. 本誌には、研究論文のほかに、書評論文、資料等の欄を設ける。
4. 1) 本誌の投稿者は、原則として京都大学大学院文学研究科行動文化学系社会学研究室に所属する専任および非常勤の教員、ならびに大学院生・研修員、研究生とする。  
2) 投稿に関する細目は別に定める。
5. 論文等は、未公刊のものに限る。
6. 論文等は、編集委員会によって審査され、その掲載について検討される。
7. 本誌に掲載された原稿の著作権は、社会学研究室に帰属するものとする。著作者が本誌に掲載された文章を再録しようとする場合は、事前に本研究室に届け出る。
8. 1) 論文等の原稿は、所定の執筆要項に準拠したものに限る。  
2) 執筆要項は別に定める。

## 目次

### 〈論 文〉

- 愛知の「派遣村」に訪れたある相談者の生活史  
—— 生活の解体と再組織化の視点から —— 西川 知亨 1
- 「手巾」と「武士道」ブーム  
—— <擬-普遍>主義的主体化のメカニズム —— 竹内 里欧 29
- 社会主義ポーランドの「雪どけ」と性愛の表象  
—— 映画『地下水道』を中心に —— 菅原 祥 43
- 裁判員制度導入以前における日本の死刑制度の賛否に関する世論の分析  
—— JGSS累積データ2000-2001における死刑反対の根拠について —— 山本 博子 67
- 大量虐殺の過去清算における「合意」に関する研究  
—— 「済州4・3事件真相究明及び犠牲者名誉回復委員会」の「犠牲者審議・決定」を事例として —— 高 誠晩 87
- 「在日である自己」をめぐるコミュニケーションの現在  
—— 「就職差別」の潜在化と在日の自己提示の越境の戦略 —— 孫・片田 晶 113
- SSK（科学的知識の社会学）から結局何が帰結するのか  
—— 社会認識論との協働の可能性 —— 山本 耕平 139

〈書評論文〉

- コミュニティをめぐる概念と実践の可能性  
—— 日常生活へのまなざし ——  
Graham Day,  
*Community and Everyday Life*  
(Routledge, 2006) 香川 直子 155
- 動く身体のリアリティ  
—— ダンス分析の可能性 ——  
Helen Thomas,  
*The Body, Dance and Cultural Theory*  
(Palgrave Macmillan, 2003) 古谷野 郁 165
- 学校教育のための育児  
—— ジェンダー化された労働と教育の不平等 ——  
Alison I. Griffith, Dorothy E. Smith  
*Mothering For Schooling*  
(Routledge Falmer, 2005) 敷田八千代 175
- モデル・マイノリティの20世紀  
—— 南アフリカ・白人優位主義社会の中国系コミュニティ ——  
Yoon Jung Park,  
*A Matter of Honour:  
Being Chinese in South Africa*  
(Lexington Books, 2009) 山本 めゆ 185

〈執筆者紹介〉(掲載順)

インターネットが利用可能な方は、社会学研究室ホームページ (<http://www.socio.kyoto-u.ac.jp>) をご参照ください。

西川 知亨

研究員、非常勤講師、博士(文学)

社会的相互作用論、社会学史、都市・地域社会学。シカゴ学派の社会学史・理論研究とそれをもとにした実践的調査研究をおこなうなかで、現代社会理論の探求を続けている。論文に、「初期シカゴ学派の人間生態学とその方法——E・W・バージェスとE・F・フレイジアを中心にして」京都大学博士(文学)論文、2008年、「E・W・バージェスと社会調査——「科学」の意味に注目して」『社会学史研究』(日本社会学史学会)第29号、2007年、「社会調査と人間生態学的方法——初期シカゴ学派におけるE・F・フレイジアを中心に」『社会学史研究』(日本社会学史学会)第26号、2004年、「初期シカゴ学派とE・F・フレイジア——人間生態学的方法の「極相」と「萌芽」」『ソシオロジ』(社会学研究会)第48巻2号、2003年、などがある。

E-mail: tomoyuki@socio.kyoto-u.ac.jp

竹内 里欧

非常勤講師、博士(文学)

文化社会学・歴史社会学。(『「欧化」と『国粹』——礼儀作法書のレトリック』『ソシオロジ』第46巻3号、2002年、『「紳士」という理想の誕生と展開——近代日本の礼儀作法書にみる』『京都社会学年報』第11号、2003年、『「真の紳士」と『似非紳士』——『西洋』と『日本』の構築』『社会学評論』第56巻3号、2005年、『The Imagined West and Modern Japan』『京都社会学年報』第15号、2007年、など。)

E-mail: rtakeuchi72@yahoo.co.jp

菅原 祥

博士後期課程2年次

文化社会学・映画研究・社会主義文化研究。社会主義時代のポーランド映画を主に分析しながら、社会主義的モダニティを新たな視野から再考することを目指している。(『社会主義文化における非行少年へのまなざし——『雪どけ』期のポーランド映画における『ちんぴら』像の検討から』『ソシオロジ』第164号、2009年)

E-mail: shosugawara@gmail.com

山本 博子

博士後期課程2年次

高 誠晩

博士後期課程 1 年次

歴史社会学、大量虐殺研究。韓国の済州 4・3 事件と後の済州社会に対する研究に基づいて東アジアにおいて大量虐殺を経験した社会との比較研究をしている。「4・3 委員会の記念事業において選択されたものと排除されたもの」「歴史批評」通巻82号、2008年 4 月、「4・3 犠牲者遺骸発掘と遺留品を通じて見た 4・3」「4・3 と歴史」第 7 号、2007年12月、など)

E-mail: wikigarden@gmail.com

孫・片田 晶

博士後期課程 1 年次

在日朝鮮人研究。アイデンティティ、差別、マイノリティ、コミュニティ (実践の共同体)、エスニシティなどのテーマに関心を持って研究している。

山本 耕平

博士後期課程 1 年次

科学社会学・知識社会学。具体的な事例の説明・実践的な提言を視野に入れつつ、科学論の分野横断性を活かした理論的諸立場の比較を通じて理論的探求に取り組んでいる。

E-mail: surucucu.ky@gmail.com

香川 直子

修士課程 1 年次

地域社会学、農村社会学。とくに沖縄の農村に関心をもっている。

古谷野 郁

修士課程 1 年次

身体論、文化社会学。特にダンスの実践の中で、人々がいかに共同的に存在しているのかに関心がある。

敷田八千代

修士課程 1 年次

ジェンダー論、若者論。とくに、飲食業に従事する若年女性の自己像にかんする研究。

E-mail: yumebouken\_s@yahoo.co.jp

山本 めゆ

修士課程 1 年次

国際移動、人種・エスニシティ論、南アフリカ研究。南ア研究においてはとりわけアジア系住民に注目し、フィールド調査を実施している。

## 編集後記

- ▼今回、京都社会学年報に編集委員として関わらせていただき、改めて感じたことは、社会学は多様であるということです。しかし、ここに掲載されている論文は、多様であると言われる状況から一步踏み出そうとしています。この雑誌を通じて、読者の皆様が、その息吹を少しでも感じとっていただけることを編集委員として願っております。(D3 中島満大)
- ▼冒険的でスリリングな論考が多いというのが「年報」の一番の魅力だと思いますが、本年度もそうした原稿が多数寄せられ、編集委員として嬉しく思います。来年度以降もこうした魅力をより引き出していくために、書式などのルールの徹底と、査読システムの改善を図りたいと思います。(D2 李洪章)
- ▼今号から編集委員の一言を入れた「編集後記」を設けることになりました。査読の結果を多数の執筆者に伝え、対面で修正の相談にのってきた歴代の編集委員の方々にもこの場を借りて御礼申し上げます。また前号掲載論文に関する手続きの不便について、関係者の方々に深くお詫びします。(教員 松田素二)

## お詫び

【京都社会学年報】第16号(2008年12月刊行)所収の古川直子論文「コミュニケーション・メディアの利用形態とジェンダー——JIS2004の分析から」につきまして、JISのデータ処理に関する正式な許諾手続きを行っていないのではないか、と関係者の方からご指摘を受けました。指摘を受けてすぐに事後許諾手続きを行いました。調査データを用いて論文を作成するさいの基本的な手続きを忘れたことは、きわめて重大な過失であり、執筆者ならびに編集委員会は、JIS関係者のみなさまに多大なご迷惑をおかけすることになりましたことを深く反省しお詫びするとともに、今後、このようなことが起こらぬように、編集作業におけるデータ使用手続きに関して厳しくチェックする体制に改善したことを報告させていただきます。

【京都社会学年報】編集委員会 代表 松田素二

(査読委員)

伊藤公雄 松田素二 落合恵美子 田中紀行 太郎丸博

## 京都社会学年報 第17号

2009年12月25日発行

編集 京都社会学年報編集委員会  
(編集代表 松田素二)  
発行 京都大学大学院文学研究科社会学研究室  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL 075-753-2758 FAX 075-753-2836  
製作 株式会社 田中プリント  
〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入  
TEL 075-343-0006 FAX 075-341-4476



この本はそのまま読むことが困難な方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は発行人へご連絡をください。

— 《Editorial Regulations》 —

1. This journal is an annual publication of the Department of Sociology, Graduate School of Letters, Kyoto University, Kyoto, Japan.
2.
  - i) This journal is edited by the Editorial Board of the Kyoto Journal of Sociology.
  - ii) The Board consists of the professors and postgraduates of the Sociology Department.
  - iii) Details of the regulations of the Board are specially provided.
3. Contributions to this journal may be in the form of articles, review essays, etc.
4.
  - i) Contributors are generally limited to professors and postgraduates of the Department of Sociology, Graduate School of Letters, Kyoto University.
  - ii) Guidelines for contributors are specially provided.
5. Contributions are limited to previously unpublished articles.
6. Review of contributions is carried out by the Editorial Board.
7. The copyright for each article included in KJS belongs to the Department of Sociology. In cases any article published in KJS is reproduced elsewhere, the author should notify the Department in writing.
8.
  - i) Manuscripts submitted for review must follow the writing guidelines for contributors.
  - ii) The writing guidelines for contributors are specially provided.



# Kyoto Journal of Sociology

No.17 December 2009

## ARTICLES

- Disorganization and Reorganization of the Social Life  
in Regard of Contemporary Poverty Problems:  
Life History of a Consulter at a "Hakenmura" in Aichi Prefecture Tomoyuki NISHIKAWA
- "Hankechi" and the *Bushidō* Boom in Modern Japanese Society:  
The Mechanism of Subjectivization through "Pseudo - Universalism" Rio TAKEUCHI
- The Representation of Love and Intimacy in Socialist Poland:  
An Analysis of Polish Films in the 1950s Sho SUGAWARA
- An Analysis of the Japanese Public Opinion on the Death Penalty  
before the Introduction of the Saiban-in System:  
About the Grounds for Opposition to the Death Penalty  
Based on JGSS Cumulative Data (2000-2001) Hiroko YAMAMOTO
- The Development of 'Social Agreement' in Contemporary Korea  
Concerning the Jeju April 3rd Massacre:  
A Study on the Special Committee for Investigation of the Truth about the Jeju Uprising  
and the Decision Making Process for Determining 'Who is a Victim?' KOH Sung-man
- Young Zainichi Koreans' Strategies of Communicating the Self:  
Transitions under Implicit Forms of Discrimination SON-KATADA Aki
- What Exactly Are the Consequences of the Sociology of Scientific Knowledge (SSK) ? :  
On the Possibility of the Cooperation with Social Epistemology Kohei YAMAMOTO

## REVIEW ESSAYS

- Graham Day,  
*Community and Everyday Life* Naoko KAGAWA
- Helen Thomas,  
*The Body, Dance and Cultural Theory* Iku KOYANO
- Alison I. Griffith, Dorothy E. Smith  
*Mothering For Schooling* Yachiyo SHIKIDA
- Yoon Jung Park,  
*A Matter of Honour:  
Being Chinese in South Africa* Meyu YAMAMOTO